

宮崎県地方協議会の取組について

令和7年4月22日（火）

宮崎県地方協議会事務局

九州運輸局 宮崎運輸支局

宮崎労働局

（一社）宮崎県トラック協会

宮崎県地方協議会の経緯

○トラック運送事業においては、全産業と比較しても特に総労働時間が長く、中には、荷主都合による手待ち時間など、トラック運送事業者のみの努力では改善することが困難な状況も多く見られたことから、トラック運送事業者、荷主、経済団体、労働団体、行政機関などの関係者が一体となり、トラック運送事業の取引環境の改善及び長時間労働の抑制を実現するための環境整備を図ることを目的として平成27年に設置。

※「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律（働き方改革関連法）」に基づき、2024年4月からトラック運転者の時間外労働の上限規制が適用されたことを受け、荷主と連携して**長時間労働の改善と生産性向上の取り組みを加速させることが求められています。**

また、取引環境・労働時間改善の課題は、**2024年を乗り越えれば解決する一過性のものではなく、中長期的に継続してこれらの課題に対応していく必要がある**ことから、令和7年度以降も引き続き協議会を開催。

【平成28年度】 4日目販売による余裕を持った運行の提案（荷種） 青果物

【平成29年度】 着先での待機実態の可視化による拘束時間削減（荷種） 青果物

【平成30年度】 荷卸ルールの整理・共有による効率化(荷種) 青果物

※参考

過去のパイロット・コンサル事業を国土交通省HP内で紹介しております。

【国土交通省HP】 https://www.mlit.go.jp/jidosha/jidosha_tk4_000107.html

宮崎県地方協議会における過去の取組(振り返り)

地方協議会名: 宮崎県地方協議会

加工食品物流における取引環境と長時間労働の改善及び加工食品以外の品目における長時間労働の改善や生産性向上に向けた取り組みの推進

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	目標と達成状況
適正な運賃收受のための周知活動 (標準的な運賃) ➢ 支局・県ト協連名で荷主あて文書発出(5月) ➢ 業界団体を訪問し周知依頼(10～11月) ➢ 会議等での制度概要説明(12～1月)	➢ 業界団体を訪問し周知依頼(12月) ➢ 会議等での制度概要説明(10～2月)	➢ 業界団体を訪問し周知依頼(1月) ➢ 会議等での制度概要説明(5～1月)	会議やセミナー、企業訪問、文書等による継続的な周知	「標準的な運賃届出率」 目標: 85% 実績: 84.3%
ホワイト物流推進運動への参画呼びかけ 案内 オンラインセミナー(10～3月) 周知(訪問、会議等)(10～1月)	案内 オンラインセミナー(10～3月) 周知(訪問、会議等)(10～2月)	案内 オンラインセミナー(10～3月) 周知(訪問、会議等)(5～1月)		「賛同事業者数」 目標: 運送事業者+5 荷主企業 +5 実績: 運送事業者+4
ガイドラインの周知 (加工食品、飲料・酒物流編、その他品目物流編) 案内 オンラインセミナー(12～2月)	周知(訪問、会議等)(10～2月)	周知(訪問、会議等)(5～1月)		「説明会・セミナー等開催」 実績: ・2024年問題対策セミナー ・物流の2024年問題解決のための「合同セミナー&個別相談会」
加工食品輸送上における課題の把握・検討 アンケート実施 集計・共有	アンケート実施 集計・共有	養鶏協会員に対して周知・啓発(6月)		「課題把握・法制度周知」 実績: ・トラックGメン活動(トラック事業者訪問、荷主パトロール) ・労働時間等説明会(10回)
トラック運送事業者に対する法制度の周知 労働時間等説明会(11～2月 計7回開催)	労働時間等説明会(12～2月 計7回開催)	労働時間等説明会(計19回開催)		労働時間等説明会

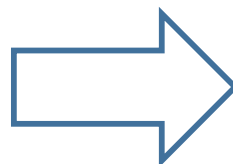
宮崎県 賛同企業 22社

- | | | |
|-------------------|-------------------|------------------------|
| ・共同運送株式会社 | ・株式会社昭英物流 | ・株式会社マキタ運輸 |
| ・霧島酒造株式会社 | ・株式会社新生運輸 | ・宮崎運輸株式会社 |
| ・株式会社桐原商事 | ・株式会社中央運送 | ・一般社団法人宮崎県トラック協会 |
| ・草水運送株式会社 | ・株式会社中央物流 | ・吉川工業アールエフセミコン株式会社 |
| ・倉本運送株式会社 | ・合同会社ティープラス | ・株式会社ワンステップ |
| ・有限会社昇栄運送 | ・株式会社戸高物流 | ・ 栄進運輸有限会社 |
| ・株式会社丸祐運送 | ・ 株式会社梶羽産業 | ・ フジトランスポート株式会社 |
| ・ 三成運輸有限会社 | | |

※赤字は新たに加盟した企業

賛同企業数（令和5年12月31日時点）

全国	1,973社
九州	220社
福岡	69社
佐賀	14社
長崎	3社
熊本	75社
大分	16社
宮崎	18社
鹿児島	25社

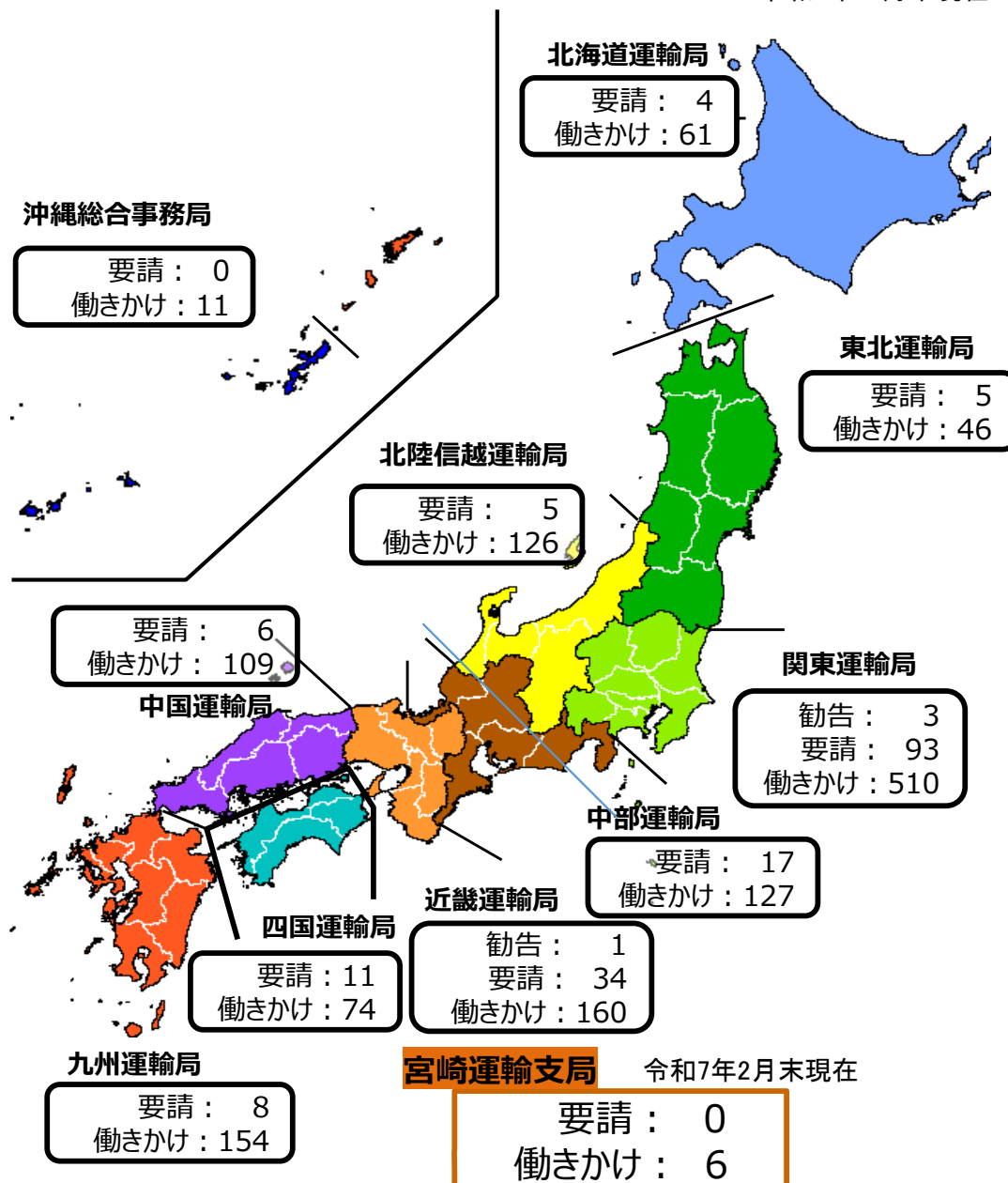


賛同企業数（令和7年2月10日時点）

全国	3,074社
九州	845社
福岡	109社
佐賀	19社
長崎	11社
熊本	633社
大分	21社
宮崎	22社
鹿児島	30社

〈ブロック別働きかけ・要請・勧告実施件数〉

令和6年12月末現在



〈宮崎運輸支局管内での活動について〉

令和7年3月末現在

トラック事業者に対する電話調査や訪問調査（情報収集）

全23件

- ・来庁 3件
- ・電話 7件
- ・訪問 13件

※情報提供者が特定されることを恐れ、荷主への「働きかけ」に使用しないよう意見を付される情報も多い

荷主へのパトロール(荷待ち状況の現地確認等)

- ・上記情報収集で得られた荷主拠点に対し実施 2件
- ・Gメン強化月間である12月に集中的なパトロールを実施
 - 宮崎市内工業団地 6件
 - 都城市内工業団地 5件
- ・中国運輸局との合同パトロール（福岡市、鳥栖市近郊荷主）
 - 宮崎運輸支局Gメンも参加、県外着荷主へパトロールを実施
- ・繁忙時期である3月に集中的なパトロールを実施
 - 宮崎市内工業団地 5件

トラック事業者・荷主に対する説明会

- ・道路貨物運送の事業場に対する労働時間法制度等説明会（主催：労働基準監督署）
 - 都城市（7月、8月）、宮崎市（10月、11月）
- ・モノが届かなくなる！？待たなし物流「2024年問題セミナー」（主催：三井住友海上保険（株））
 - 宮崎市（11月開催 6社（会場）、他WEB参加）

トラックドライバーへのヒアリング、トラックGメンのチラシ配布

- ・宮崎自動車道・九州縦貫自動車道の「山之口SA」「霧島SA」「えびのPA」でドライバーへの直接聞き取りによるアンケート実施（12月）

宮崎県地方協議会 今後の取り組み方針

・宮崎県地方協議会のテーマ（対象輸送分野）は、「加工食品」とする。長時間労働などの課題の早期改善及び荷主・運送事業者間で改善に向けた協議が実施しやすい環境づくりに向け以下に取り組む。（必要に応じ見直し）

<具体的な取り組みの方針>

物流改正法・標準的運賃をはじめとした各種施策の周知

- ・「標準的な運賃」制度や、令和7年4月から施行される関係法令などについて、理解を深めるため講習等により周知を図る

運送事業者・荷主企業等への訪問、情報収集

- ・運送事業者・荷主企業等に対して、労働時間改善や生産性向上に向けた取り組み状況を訪問により聞き取り、好事例を収集・普及促進に取り組む
- ・運送事業者への訪問・ヒアリング等により荷主等の違反原因行為についてプッシュ型情報収集を行う

改善基準告示の周知及び遵守状況の確認

- ・改正労働基準法等の内容を含む労働時間に関する法制度等の周知・理解に向けて、労働局・労働基準監督署において機会を捉えて周知を行う
- ・運送事業者を訪問し、労働時間等の労働条件について調査し、問題点について助言指導を行う

